薩摩半島横断道路検討会
【第1回】

令和4年3月29日

鹿児島県土木部道路建設課

～ 目 次 ～

1. 検討会の目的・構成員

2. 地域の概要

〇検討の背景と南薩地域のネットワークの現状

〇人口（居住人口、就業人口）

〇通勤・通学流動

〇産業：観光

〇産業：農畜水産

〇救急医療

〇将来像（関連計画）

3. 今後の進め方

1．検討会の目的･構成員

【検討の目的】

○南薩地区において、物流・人流・災害等、地域や道路ネットワークの現状と課題を踏まえ、関係機関と連携し、計画の具体化に向け検討を行うものとする。

【規約案】

薩摩半島横断道路検討会規約（案）

（名称）
第1条　本会は，「薩摩半島横断道路検討会」（以下「検討会」という。）と称する。

（目的）
第2条　検討会は，南薩地区において，物流･人流･災害等，地域や道路ネットワークの現状と課題を踏まえ，関係機関と連携し，薩摩半島横断道路の計画の具体化に向け検討を行うものとする。

（組織）
第3条　検討会は，別紙に定める構成員をもって組織する。

（会長）
第4条　会長は，検討会を代表し会務を総括する。
2　会長は，鹿児島県土木部次長をもってあてる。
3　会長が不在のときは，あらかじめ会長が指名した者が会長の職務を代行する。

（運営）
第5条　検討会は，必要に応じて会長が招集する。
2　会長は，必要があるときは委員以外の者の出席を求めることができるものとする。
3　検討会の運営，進行は会長がこれにあたる。
4　検討会の事務局は，鹿児島県土木部道路建設課に置く。
5　事務局は，会議の円滑な運営にあたるとともに，議事録を整理する。

（規約の改正）
第6条　本規約の改正は，検討会の決議によらなければならない。

（雑則）
第7条　この規約に定めのない，検討会の運営について，必要な事項は会長が別に定める。

附則　この規約は令和4年　月　日から施行する。

【構成員】

○枕崎市　副市長

○指宿市　副市長

○南さつま市　副市長

○南九州市　副市長

○九州地方整備局　鹿児島国道事務所長

○鹿児島県　土木部次長

○鹿児島県　南薩地域振興局　建設部長

（事務局）鹿児島県　土木部道路建設課

1. 検討会の目的・構成員（ 参 考 ）

【薩摩半島横断道路勉強会開催状況】

○令和3年8月19日（木）　薩摩半島横断道路勉強会開催

＜主　　催＞　薩摩半島横断道路建設促進協議会
＜協議会構成＞　地元経済団体（商工会議所・観光協会・建設業協会・JA・商工会）、地元県議会議員
＜その他出席者＞ 地元選出国会議員、鹿児島県、鹿児島国道事務所、南さつま市、指宿市、南九州市、枕崎市

【勉強会における主なご意見】

◇**薩摩半島は食の宝庫**。農作物や海産物、また、その加工製品など、**県内外にいち早く出荷できる流通体制が大変重要**であり、そのためにも道路整備が必要。

◇当地域は、らっきょう・キンカン・オクラ、実えんどうなど多くの**「かごしまブランド産品」を生産しているが、厳しい産地間競争等により、生産者はみなさん苦しい**思いをされている。

◇**生産者の所得向上のためにも、輸送コストを抑え、1時間でも早く**市場に届くよう、横断道路の整備が必要。

◇他の地域に比べ、道路網整備が遅れており、**移動（運送）時間がかかり、アクセス性が非常に悪い**。

◇当地域は川内原発の有事における避難受入先となっており、**緊急輸送の基軸となる横断道路整備**が必要。

◇当地域は南北を繋ぐ道路はある。これを**東西に結ぶ道路整備が観光面で非常に期待**される。

◇指宿市から南さつま市等に向かう場合など、道がわかりにくく迷う。**観光地へアクセスしやすく、県外観光客にもわかりやすい道路整備**が望まれる。

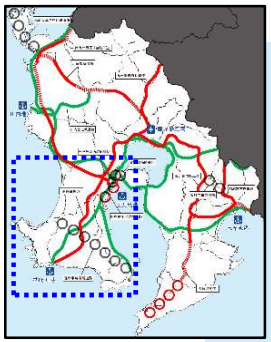
◇指宿市から南さつま市までの移動時間（車）と、鹿児島中央駅から博多駅までの移動時間（新幹線）がほぼ同じ。

◇ 最近の観光は、**限られた時間の中で沢山のスポットを巡り、体験するのがトレンド**。一日も早い横断道路整備を望む。

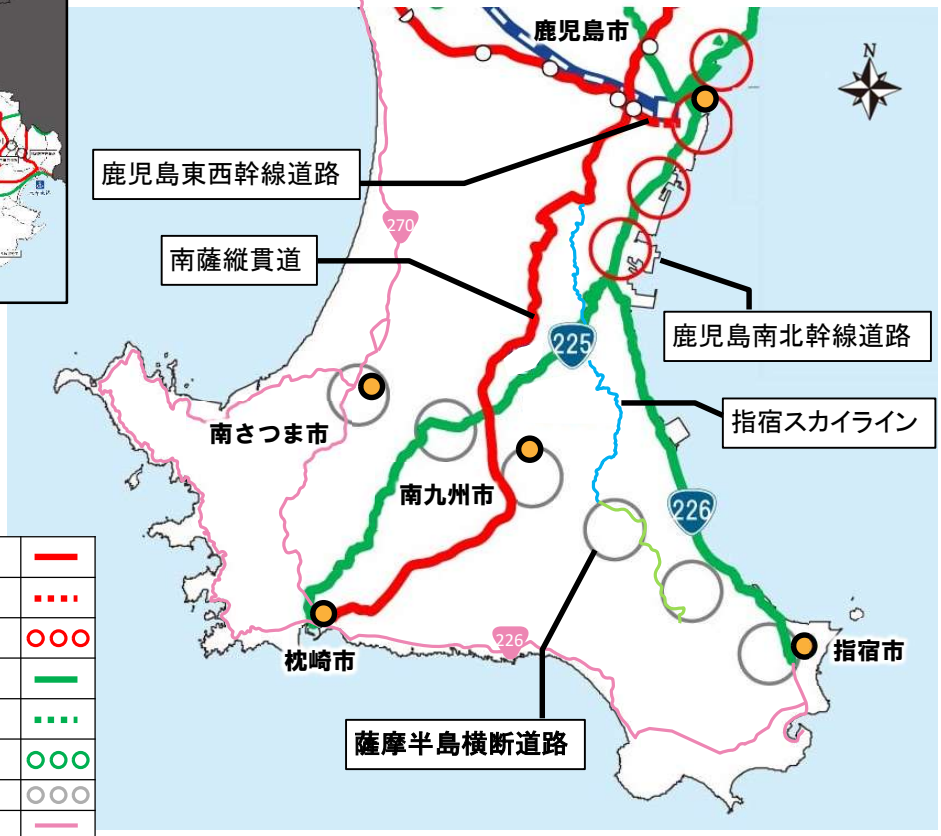
2. 地域の概要

【検討の背景と南薩地域のネットワークの現状】

〇令和3年6月17日「鹿児島県新広域道路交通計画」、同年7月7日「九州地方新広域道路交通計画」が策定され、**指宿市、南九州市、南さつま市を結ぶ「薩摩半島横断道路」**を広域道路ネットワーク計画の**構想路線**に位置付け。



■広域道路ネットワーク計画図（南薩地区）



高規格道路	併用中	
	事業中	
	調査中	
一般広域道路	併用中（直轄）	
	事業中	
	調査中	
構想路線		
補助国道		
有料道路（指宿スカイライン）		
主要地方道（指宿スカイライン）		

【出典】九州地方新広域道路交通計画（令和3年7月策定）に、一部加筆

2. 地域の概要

【検討の背景と南薩地域のネットワークの現状】

○ 南薩地域における縦軸の道路ネットワークは概成しているが、横軸の道路は南さつま市と指宿市の拠点を結ぶ補助国道（226号）のみでである。

■薩摩半島横断道路（構想路線） 路線概要図

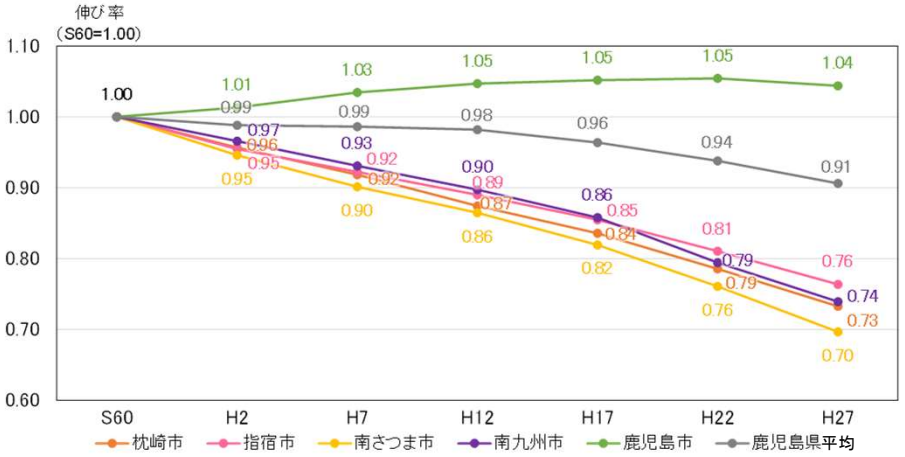
２．地域の概要

【居住人口】

○ 鹿児島県においては、鹿児島市や霧島市等の都市を除いて、近年人口減少が顕著であり、南薩地域の人口は、減少傾向である。

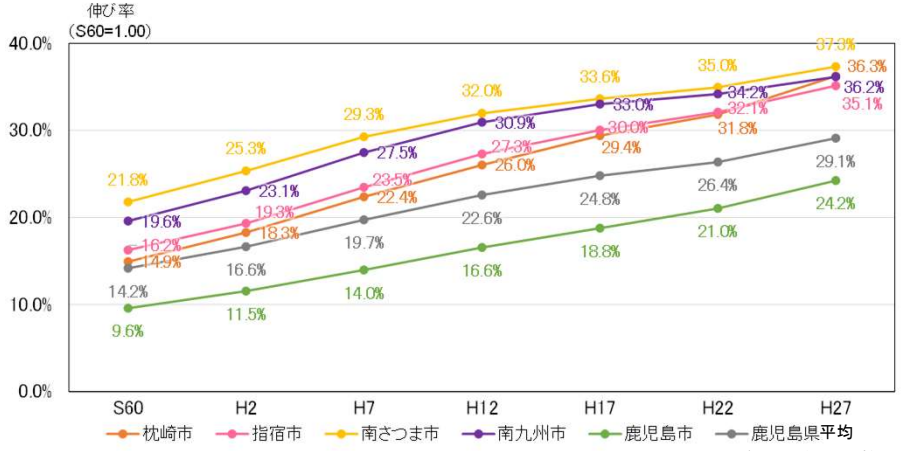
○ 南薩地域の4市は、いずれも高齢化率が35%を超えており、鹿児島県平均を上回っている。

■居住人口の伸び率（S60～H27）



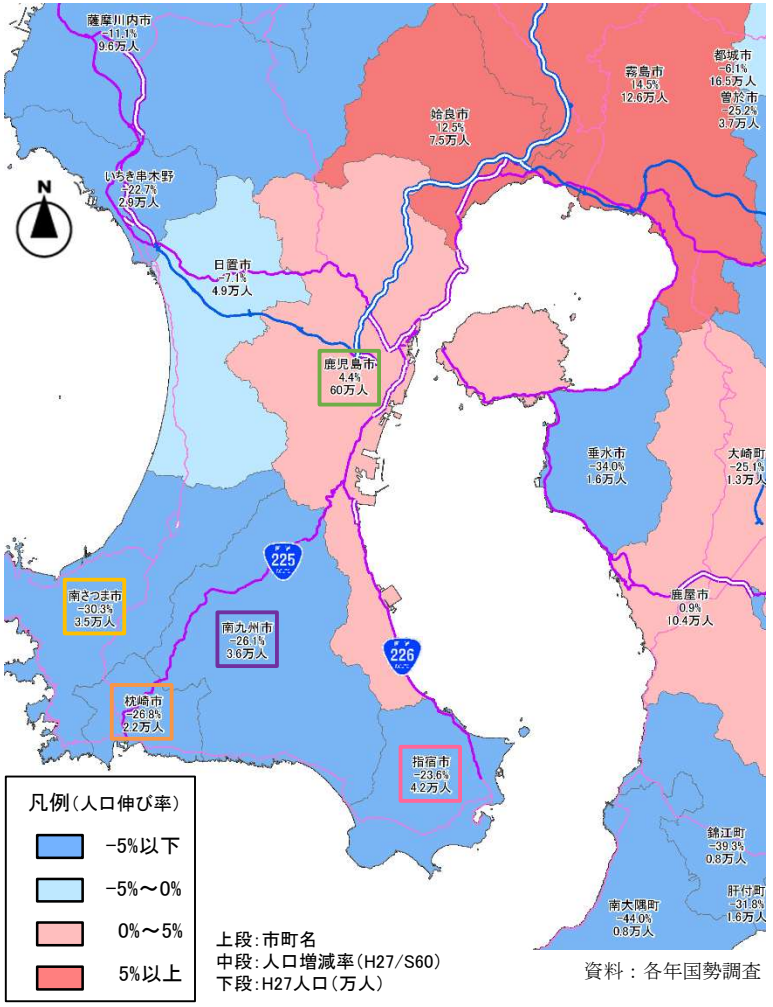
資料：各年国勢調査

■高齢化率の推移（S60～H27）



資料：各年国勢調査

■居住人口増減率の状況（S60年→H27年）



資料：各年国勢調査

２．地域の概要

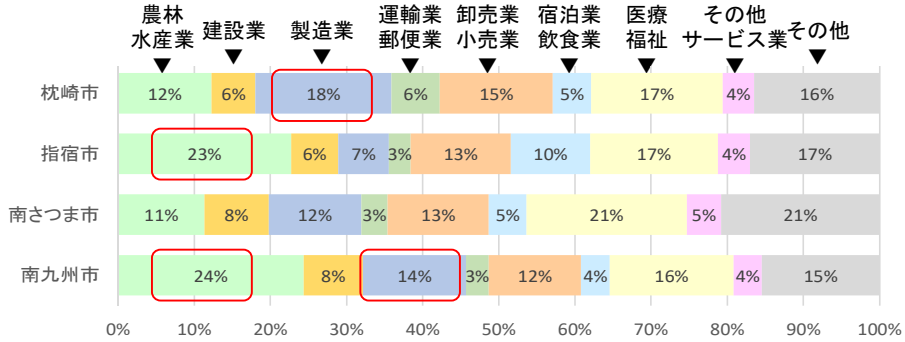
【就業人口】

〇指宿市や南九州市は、就業者の4人に1人が農林水産業に従事しており、地域の基幹産業となっている。
〇また、食料品加工（カツオ節等）や飲料製造（焼酎、茶等）が盛んな枕崎市や南九州市では、製造業の従事者も多い。
〇南さつま市には、光ディスク修復装置世界シェア1位の企業が立地。

■南薩地域における就業人口分布と商業施設・工業団地等の位置

資料：H26経済センサス

■南薩地域4市における産業別就業者人口割合



「その他」に含まれるのは，「鉱業，採石業，砂利採取業」，「電気・ガス・熱供給・水道業」，「情報通信業」，「金融業，保険業」，「不動産業，物品賃貸業」，「学術研究，専門・技術サービス業」，「生活関連サービス業，娯楽業」，「教育，学習支援業」，「複合サービス事業」，「公務（他に分類されるものを除く）」及び「分類不能の産業」である。

資料：H27国勢調査

南九州市 知覧茶の茶畑

枕崎港 第3種漁港

指宿市新西方工業団地 ※分譲募集中

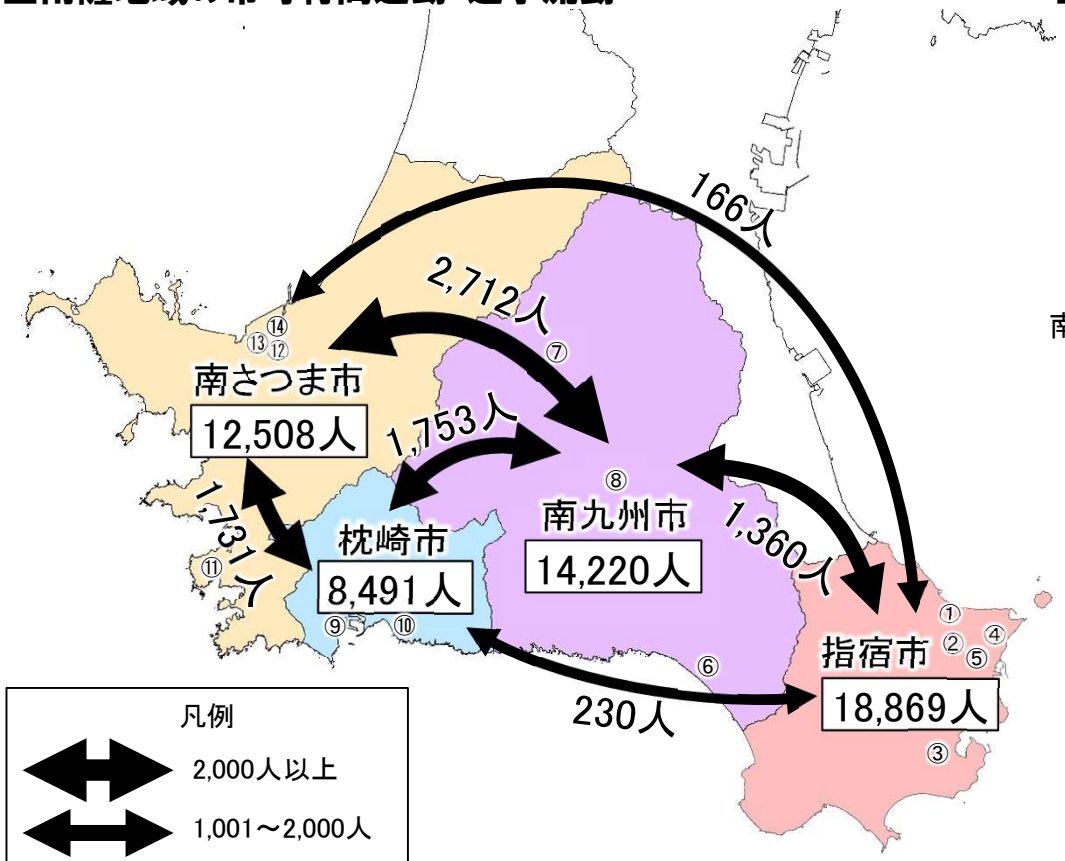
枕崎市臨空工業団地 ※分譲募集中

２．地域の概要

【通勤・通学流動】

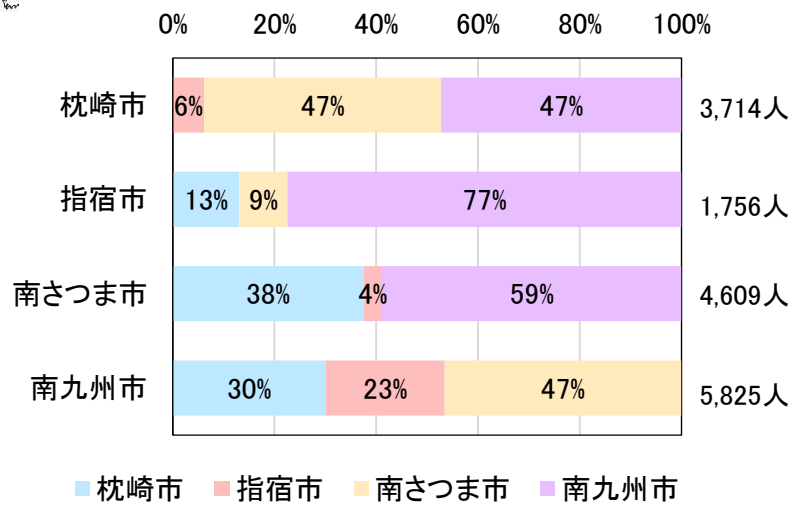
○南薩地域の市町村間通勤・通学流動は、南九州市との流動が最も多く、なかでも南さつま市が多い。
○通勤・通学は隣接市町村間の流動が主であるため、南九州市には各市との通勤・通学流動が発生。

■南薩地域の市町村間通勤・通学流動



資料：H27国勢調査

■南薩地域の市町村間通勤・通学流動（割合）



資料：H27国勢調査

①指宿市立指宿商業高校
②鹿児島県立指宿高等学校
③鹿児島県立山川高校
④九州大学農学部　附属指宿試験地
⑤鹿児島大学農学部　附属農場指宿植物試験場
⑥鹿児島県立頴娃高等学校
⑦鹿児島県立川辺高等学校
⑧鹿児島県立薩南工業高等学校
⑨鹿児島県立枕崎高等学校
⑩鹿児島県立鹿児島水産高等学校
⑪玉川大学鹿児島久志農場
⑫鹿児島県立加世田高等学校
⑬鹿児島県立加世田常潤高等学校
⑭鳳凰高等学校

２．地域の概要

【産業：観光(南薩地域内)】

○南薩地域には、砂蒸し温泉や開聞岳、吹上浜など、地域の自然環境を体験できるスポットや、知覧特攻平和会館や鑑真記念館など、歴史・文化的に重要な施設が存在するなど、多様で魅力的な観光地が多数存在。
○南薩地域における観光地間は、アクセス性が悪く、観光旅行等で周遊できるスポットが限られる状況。

❹吹上浜砂の祭典

❺秋目の風景
（映画007撮影記念碑）

❻枕崎お魚センター

❼釜蓋神社

❽開聞岳

❾西大山駅

❶知覧特攻平和会館

❷グリーンファーム
（鹿児島市観光農業公園）

❸砂むし会館砂楽

出典：【所要時間（12h平均）】H27年度 全国道路・街路交通情勢調査

２．地域の概要

【産業：農畜水産物】

○南薩地域は、オクラやお茶など多くの農産物の出荷量が日本一を誇り、また、カツオ等水産物の水揚量も全国上位。
○カツオ節の生産量は指宿市と枕崎市で全国シェアの７割を占める。
○県を代表する農畜産品に指定される「かごしまブランド」産品である、かぼちゃ、そらまめ、実えんどうなども多く生産。

出典：【農畜水産物】水産物流通調査（R1）、市町村別農業産出額（推計）（R1）、水産加工統計（R2）、
地域特産野菜生産状況調査（H28）、枕崎市さつま鰹節協会HP、
作物統計調査(H18)(南さつま市は頴娃町・川辺町・知覧町の合計)
【所要時間（12h平均）】H27年度 全国道路・街路交通情勢調査

２．地域の概要

【救急医療】

○南薩地域は、高齢化率の高い地域が多く、救急搬送件数は年々増加傾向であり、また、病状や該当診療科有無等により市を超えた救急搬送が行われている。
○南薩地域には、指宿地区に3施設、加世田地区に9施設の救急告示医療機関が立地しているが、一部、救急告示医療施設がない地域も存在。
○薩南病院は南薩地域で唯一地域災害拠点病院として指定されており、災害派遣医療チームの派遣を行う。

■南薩地域の高齢化率と救急告示医療機関位置図

災害拠点病院：被災時において通常の医療体制では被災者に対する適切な医療を提供することが困難な場合に、傷病者の受け入れや災害派遣医療チームの派遣を行う機能を備えた病院。
南薩地域では地域災害拠点病院として唯一薩南病院が指定。

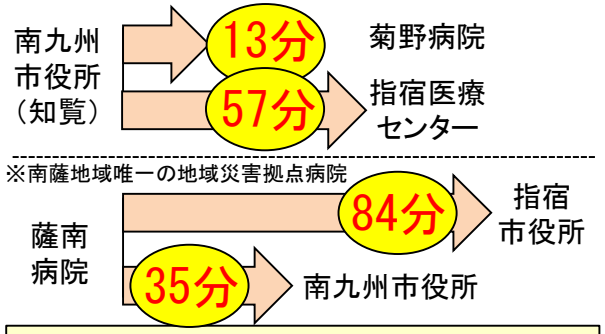
■管轄外地区への救急搬送人数（H29）

単位：人/年

着 ＼ 発	枕崎市	指宿市 南九州市	南さつま市	鹿児島市	その他
枕崎市	578	20	8	8	0
指宿市 南九州市	121	1628	107	79	0
南さつま市	106	153	682	41	20

資料：南薩保健医療圏地域医療連携計画（H31.3）

■南薩地域の搬送にかかる所要時間



【地域住民の声】
・他の地域に比べ、道路網整備が遅れており、移動時間がかかり、アクセス性が非常に悪い。
・緊急輸送の基軸となる横断道路整備が必要。

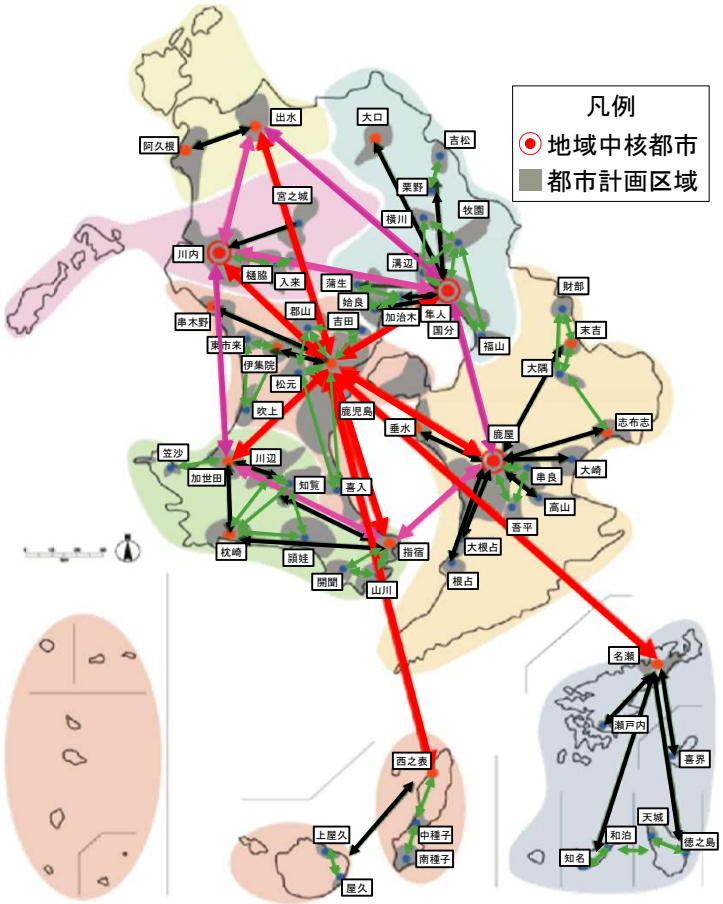
２．南薩地域の都市計画

【鹿児島県】

○鹿児島県都市計画基本方針では、都市圏及び地方圏各都市間の交流ネットワークの構築を進め、それぞれの都市が交流連携し合い活力にあふれた県土づくりを進めることとしており、また、鹿児島県広域道路ネットワークにおいて、南薩地区の南薩縦貫道が高規格道路に、薩摩半島横断道路が構想路線に位置づけられている。

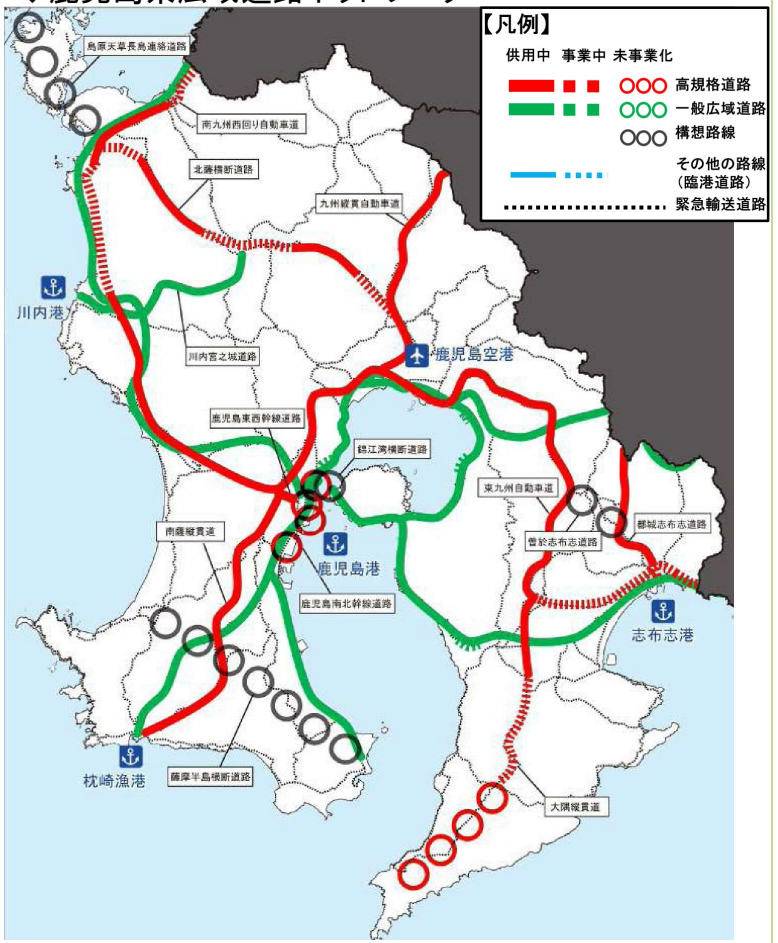
鹿児島県都市計画基本方針（平成31年）

◆ネットワーク県土形成のイメージ



かごしま新広域道路交通計画（令和3年）

◆鹿児島県広域道路ネットワーク



２．南薩地域の都市計画

【南薩地区各市の将来像】

〇南薩地区各市の将来像では、地域特産品等の販路拡大や新たな企業誘致、また、近隣市との連携した周遊観光ルート開発等により地域経済の活性、雇用創出等を推進している。
〇救急医療体制の確保や、効率的効果的な広域行政対応等のためにも、近隣市との連携した取り組みを推進している
〇南薩地区各市の連携、災害対応等に資する広域的な道路網の整備が求められている。

	指宿市	枕崎市	南さつま市	南九州市
	〇第二次指宿市総合振興計画(後期基本計画）R3.3	〇第6次枕崎市総合振興計画後期基本計画（令和3年度～令和7年度）R3.3 〇枕崎市強靭化地域計画 R2.3 （R3.2改訂）	〇第3次南さつま市総合振興計画（令和4年度～令和8年度）	〇第２期南九州市創生総合戦略 R2.3 〇第2次南九州市総合計画 H30.3
産業	・水産業の6次産業化や販路拡大に努め、水産加工業の経営と安定を図る。 ・県や関係機関と連携し、立地条件などの広報活動や、進出に係る相談・支援の強化を図りながら、積極的な企業誘致を推進する。 ・販路開拓に有用な商談会の実施や、ふるさと納税など新たな販売システムの構築など、市外への特産品販売の拡大を図る。	・大消費地から遠いという地理的条件を改善するため，総合的な流通体系の整備を推進する。 ・「枕崎鰹節」等の水産加工品や農畜産物の販路拡大に取り組む。 ・水産加工関係企業の誘致に努め、地場企業との融合を図りながら、生産性の向上に努める。	・ふるさと納税返礼品を有効活用により、新たな顧客の確保を図りながら販路拡大を支援し、地場産業の振興を図る。 ・海面、陸上養殖などの水産事業者の企業誘致を推進するとともに、誘致事業者による雇用確保を支援し、新たな雇用の創出を図る。	・農業の6次産業化を推進し、販売力の強化や戦略的な海外展開を目指すことで、地域経済の活性化を図る。 ・基幹産業である農業を主軸に、豊かな自然・気候・海洋を活用する企業の誘致を推進する。
観光	・観光資源を生かした景観づくりに努めるとともに、それぞれの資源を結ぶ効率的な道路整備に努める。 ・近隣自治体をはじめ、大隅半島や離島の魅力ある観光施設や資源と連携を図りながら、地域一体となった観光圏の形成を推進する。	・近隣市町との連携を深め新たな観光ルートの開発を推進するとともに，埋もれた産品や新メニューの開拓に努める。	・県や近隣市と連携しながら、インバウンド受入も意識した広域的な周遊観光ルートの造成に取組む。	・訪日外国人観光客をはじめとする近年の広域観光化に対応するため、近隣の観光施設や団体と連携し、広域観光ルート開発、交通基盤整備等に取組む。
医療・行政	・ドクターヘリや医療機関等との連携を強化し、救急医療施設へのより迅速な収容を目指す。 ・自治体間の連携を強化するとともに、機能分担を進め、衛生・観光など、事務事業の一体化・効率化を促進する。	・市外の二次医療機関との日常的な連携を深め，市外への搬送体制を維持していく。 ・周辺市との連携を強化し、事務の共同処理や施設の共同利用等の推進により効果的・効率的な広域行政の展開。	・救急患者の応急措置、搬送、治療が適切に行われるよう、南薩医師会、枕崎市医師会との連携、県が運用するドクターヘリの活用により、救急医療体制の確保に努め ・関係市、団体等との広域的事務事業の推進・連携により、多様化する広域行政需要に適切に対応	・市単独でなく、広域連携により効率的・効果的に取組むことのできる事業について、新たな再編を視野に入れ、より広域的な連携を推進。
道路整備	・広域的な物流の促進や災害時に備えた国道等の代替道路としても期待できる広域農道の早期完成を目指した取り組みを推進する。	・南薩縦貫道の機能向上と、広域交通拠点への道路網整備を強化。 ・災害時における道路網の確立を図る為、年次的な整備に努める。	・更なる南薩地域の一体的な形成を目指し、南さつま市から指宿市を最短で結ぶ**薩摩半島横断道路**の整備実現に向けた取り組みを促進する。	・南薩地域の中心である地理的優位性を生かし、地域の中核としての役割を担っていくため、周辺市を結ぶ広域交通網の整備を促進。 ・南薩縦貫道へのアクセス道路の整備を関係機関に働きかけ、広域的な交通体系の確立を目指す。

※上表は、各市の総合計画等より抜粋・要約したもの。

２．南薩地域の都市計画

（1）指宿市

○指宿市マスタープランでは、「雄大な自然、景観及び温泉などの保全・活用」「円滑な都市活動を支える交通体系の実現」等が位置づけられている。
○鹿児島空港から1時間圏を目指す新たなルートとして、県道指宿・鹿児島インター線(指宿スカイライン)から指宿駅へと至るルートの整備を検討し、交流促進や産業の活性化につながる高速交通体系の確立を図ることとしている。

指宿市マスタープラン（平成25年）

○主要幹線軸の整備方針（都市間連携を強化する広域交通体系の確立）
・人・モノ・情報の交流・連携を支える総合的な広域交通体系の確立を図ります。
・未整備区間や橋梁部を中心に車線数の不連続区間の拡幅整備や交差点の改良等を図ります。
・鹿児島空港から一時間圏を目指す新たなルート（県道指宿・鹿児島インター線～県道東方池田線～（仮称）市道指宿池田線～指宿駅）の整備を検討し、交流促進や産業の活性化につながる高速交通体系の確立を図ります。
・都市の骨格を形成するとともに近隣市との連携や、鉄道駅への交通アクセスの利便性を高める主要幹線軸の整備促進を図ります。
・近隣市との交流促進や産業の活性化を図るため、国道226号の追越し車線の整備、主要幹線軸の整備促進に努めます。

資料：指宿市都市計画マスタープラン（H25.11 H29.9改訂）　P65

資料：指宿市都市計画マスタープラン（H25.11 H29.9改訂）

２．南薩地域の都市計画

（２）枕崎市

○枕崎都市計画では、人や物の動きを活性化し、広域的な交流・連携を強化するため、南薩縦貫道や国道225号、国道226号、国道270号などの広域的な幹線道路の整備を推進することとしている。

枕崎都市計画図（平成16年）

注①）この方針図は、概ね20年後の目指すべき都市の姿を想定したものであり、具体のルート及び位置を規定したものではありません。
注②）「概ね10年以内に整備」とは、概ね10年以内に整備に着手することを含み、整備の完了時期を明示したものではありません。

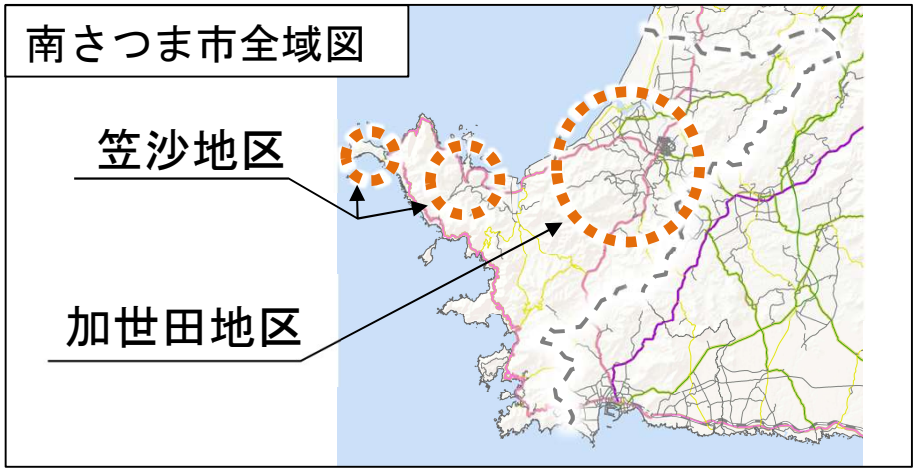
資料：鹿児島県都市計画区域マスタープラン　南薩地区　枕崎

２．南薩地域の都市計画

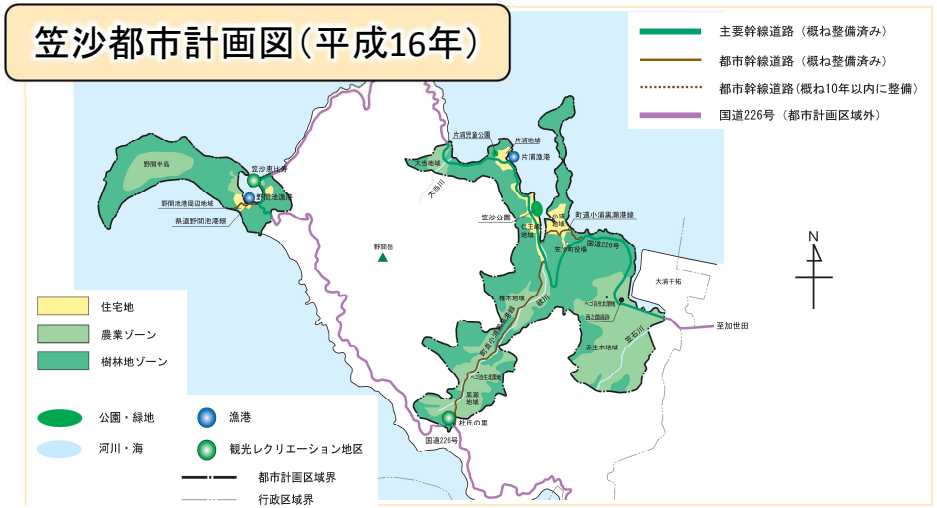
（3）南さつま市

○笠沙都市計画では、住民の安定した日常生活に欠かせない道路としての機能を発揮させるため、中心市街地同士を連絡する幹線道路の整備を図ると位置づけられている。
○加世田都市計画では、「災害時における避難ルートとして配慮した整備促進」「南薩地域における交通の要衝であることから、広域交通網としての国道・県道における未整備区間の整備促進」などが位置づけられている。

南さつま市全域図

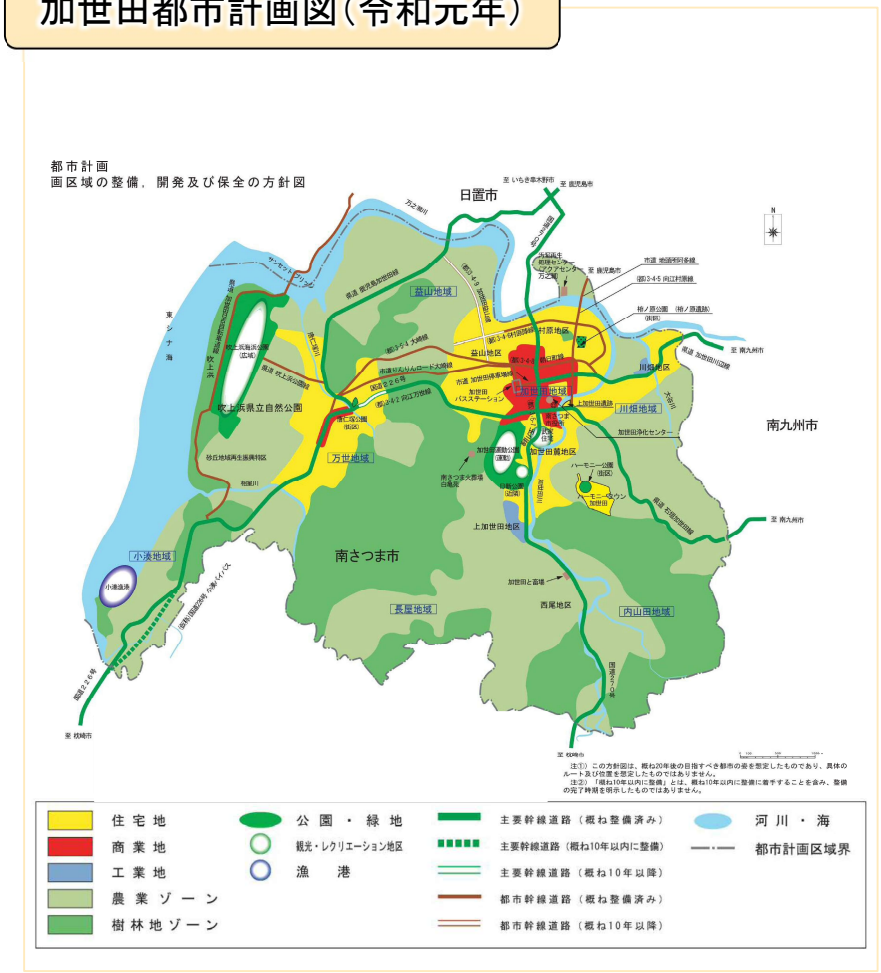


笠沙都市計画図（平成16年）



資料：鹿児島県都市計画区域マスタープラン　南薩地区　笠沙

加世田都市計画図（令和元年）



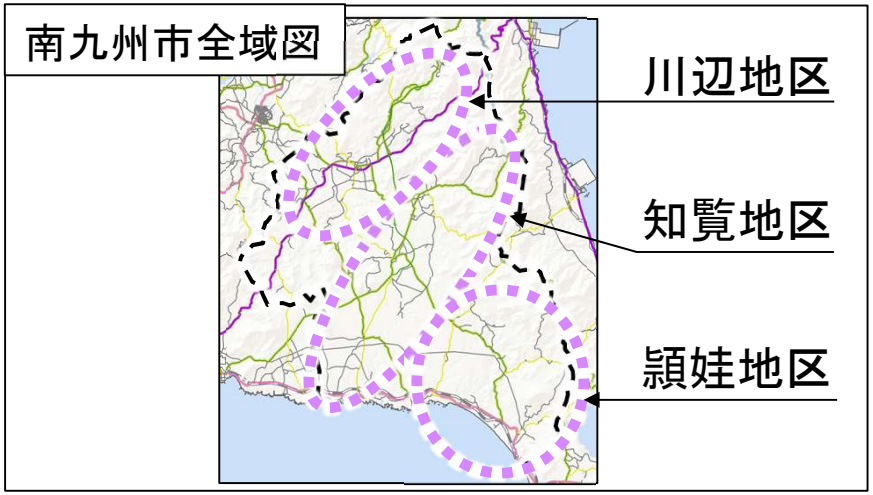
資料：鹿児島県都市計画区域マスタープラン　南薩地区　加世田

２．南薩地域の都市計画

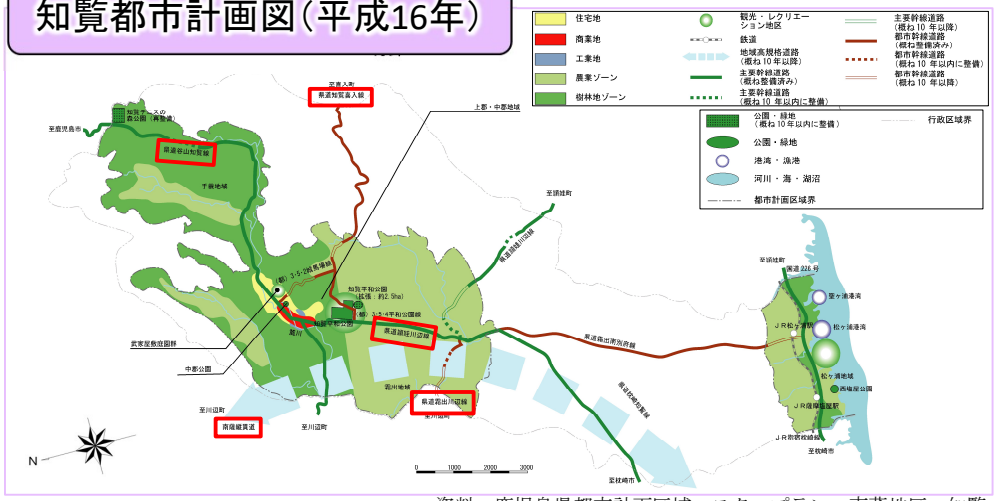
（4）南九州市

○南九州市を構成する3地区における都市計画では、「緊急時や災害時に対応できる道路整備の推進」「広域交通を担う南薩縦貫道や国道、県道の未整備区間を整備促進」がそれぞれ位置づけられている。

南九州市全域図



知覧都市計画図（平成16年）

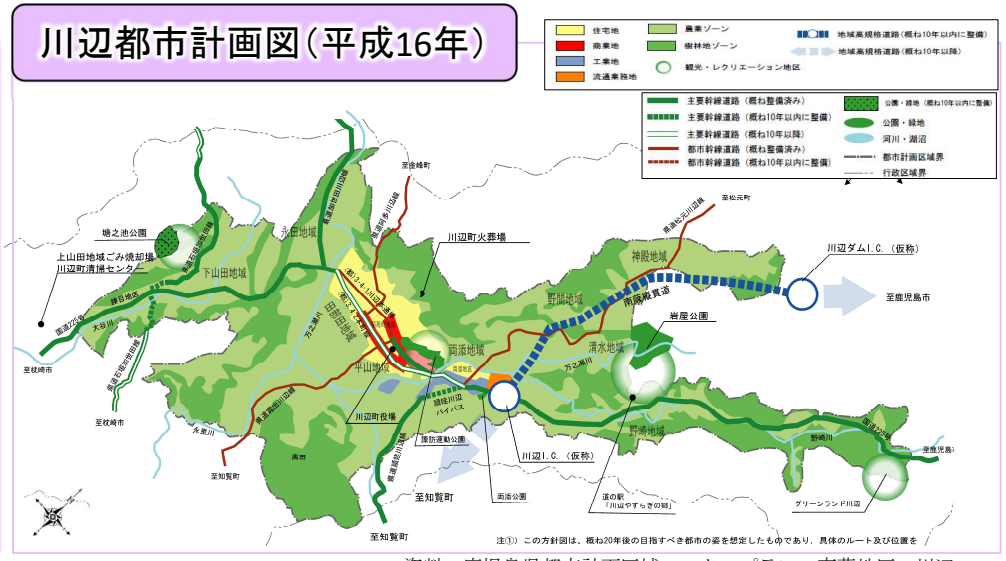


資料：鹿児島県都市計画区域マスタープラン　南薩地区　知覧

頴娃都市計画図（平成16年）

資料：鹿児島県都市計画区域マスタープラン　南薩地区　頴娃

川辺都市計画図（平成16年）



資料：鹿児島県都市計画区域マスタープラン　南薩地区　川辺

3. 今後の進め方（案）

○ 薩摩半島横断道路の計画の具体化に向けて、物流、人流の現状、道路の使われ方の把握、また、現状の課題整理、薩摩半島横断道路に求められる機能・役割等について、引き続き検討を進める。